

春ノ裏

あつく隔 へだて・仏日 ふつにち のひかりまなこにさいぎ
らず六しゆたしやういづれもみなえた

りといへとも三途 づ・八難 なん それつねのすみ

かたるべきものなりしかるに草木 さうもくの

風にしたがひてかたぶくかたへたふるゝ

がごといやしきわが身のこは何事

にさはりて片 かた 山かけの住井 すまゐ・柴 ちば の庵 いほり
にこもりみざらんと思ひてかくぞ

いつなげきいつ思ふべきことなれは